

from ほうかつ

令和7年4月発行

令和7年度
スタート!

檜葉町地域包括支援センターってどんなところ? ～私たちの業務をご紹介します!～

檜葉町地域包括支援センターは、**高齢者や障がい者(40歳以上)の様々な困りごとに関する総合相談窓口**です。高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、介護及び介護予防サービス、医療、保健福祉サービス、日常生活支援、権利擁護支援、地域支え合い、活動・活躍の場づくり等の様々な相談に応じており、介護保険の申請のお手伝いも行っています。今回は、当センターの業務内容を分かりやすくご紹介します!

地域包括支援センターとは



檜葉町地域包括支援センターは檜葉町社会福祉協議会が檜葉町より受託し、保健福祉会館3階に事務所があります!

地域包括支援センターは、**3つの専門職(主任ケアマネジャー、保健師(看護師)、社会福祉士)**で構成され、**チームとして高齢者や障がい者の介護や福祉、医療、保健、生活等に関する総合的な支援**を行っています。

また、今年3月に策定された「第5次檜葉町地域福祉計画・第2次地域福祉活動計画」の基本理念である“みんなで支え合い 幸せを実感できるまち”の実現に向けて業務を実施しています。

地域包括支援センターの6つの主な業務

1 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方または「総合事業対象者」となった方から依頼を受けて**介護予防及び日常生活支援を目的としたケアプラン(介護予防サービス・支援計画)の作成等**を行います。(町外に居住している方については居住先の事業所に委託しています)また、定期的なモニタリング(ご本人の状況やサービスが合っているかの確認)を行い、必要に応じてサービスの見直し等も行います。

ある日、玄関先で転倒してしまったAさん。足の筋力が低下し、生活の不安を感じたAさんから、当センターに介護保険の相談が寄せられました。職員が訪問してお話を伺った結果、介護保険を申請することになりました。その後「要支援2」の認定結果を受け、当センターでケアプランを作成し、福祉用具(玄関手すり)のレンタルと介護予防事業を利用することになりました。必要なサービスを組み合わせた介護予防支援を行うことにより、Aさんの生活環境が整いました。

お気軽にご相談ください

主任ケアマネジャー 保健師(看護師) 社会福祉士



当センターでは6つの業務を大きな柱として日々の業務にあたっています!

センター長 江尻

活動事例紹介



2 総合相談支援業務 障がい者相談支援事業

高齢者や障がい者を対象とした相談対応を行っています。健康、介護、医療、生活困窮、成年後見制度利用等、福祉に関する様々な課題の相談に応じる総合相談機能の強化を図り、継続的な支援と新たな問題発生を予防するべく、地域におけるネットワーク構築を強化していきます。

活動事例紹介

こんにちは!



●電話、来所、訪問による個別相談、申請代行総合相談窓口として、高齢者や障がい者への個別相談を実施しています。また、必要に応じて介護保険の申請代行も行っています。
●地域におけるネットワークの構築&実態把握 医療、保健、福祉等の多職種と連携し、地域で包括的に支援できるような関係性づくりに努めています。また、民生児童委員や関係機関との会議に出席し、地域の実態把握に努めています。

3 権利擁護業務

高齢者や障がい者が地域において尊厳ある生活を維持し、安心して日常生活を送ることができるよう支援します。具体的に①成年後見制度等の活用促進②老人福祉施設等への措置の支援③高齢者等虐待への対応④消費者被害防止等の支援を行います。



活動事例紹介

双葉地方権利擁護支援センター8色と連携して地域ミニデイ等に出向き、特殊詐欺被害防止や権利擁護に関する出前講座を開催しています。寸劇を通して、権利擁護の必要性について普及啓発を行っています。



4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者や障がい者ひとりひとりの状況や変化に応じて包括的かつ継続的に関わられるよう、多職種との連携を図ります。具体的に①町の課題解決に向けたワーキンググループの開催②ケアマネジャー等の資質向上を目的とした事例検討会等の実施③ケアマネジャー等からの相談に関する支援④支援者や住民を対象とした学習会や座談会等の開催、情報提供の場づくりを行います。

活動事例紹介

様々な分野の関係機関が集まり、ワーキンググループ(福祉課題を抱える移住者支援等のテーマ別検討会)や「介護・福祉サービス事業所連絡会」等を開催して、町の課題の共有や課題解決に向けた協議を行っています。



5 認知症総合支援事業

認知症地域支援推進員、オレンジコーディネーターを中心に、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心した暮らしを続けられるよう支援します。具体的に①認知症初期集中支援チームの活動②認知症サポーター養成講座の開催③認知症カフェの開催④認知症ケアパスの活用等を通じた支援を行います。

活動事例紹介

町では、認知症への理解を深め、“認知症の方を優しく応援できる地域づくり”を目指して、チームオレンジの取組み(認知症の方への見守りやちょっとした声かけのネットワークを地域の皆さんと一緒に作り、認知症の方や家族をチームで支えること)がスタートしています!

新年度も当センターは、住民の皆さんの福祉向上に向けて、関係機関と連携しながらますますパワーアップして業務を行ってまいります! よろしくお願いたします!

6 地域包括ケアシステム深化推進業務 生活支援体制整備事業

誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、①地域共生ケア会議の開催②地域の社会資源やニーズの把握③檜葉町地域包括ケアシステム構築推進シンポジウム「ならはコミュニティコレクション(ならコレ)」の共催④住民への啓発活動(情報紙『fromほうかつ』の発行)等を行い、地域包括ケアシステムの更なる充実を目指します。

活動事例紹介

シンポジウム「ならコレ」は、毎年様々なテーマに基づいた寸劇や発表を通して、檜葉ならではの地域づくりを考える機会となっています。



高齢者・障がい者の総合相談窓口
 TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156
 〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)
 Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽にご相談ください。

「地域で見つけた支え合い」 ～一緒に楽しむことが大切なんですね～



私は、認知症地域支援推進員の役割を担い、認知症サポーター養成講座、チームオレンジについて学び、認知症があっても住み慣れた檜葉町で自分らしく生活を続けられるような地域づくりを行っています。これまで、たくさんの支え合いを目にすることができました。今回は「それって、支え合いなの?」「そうです!! 素敵な支え合いなんですよ。」という事例をご紹介します。

事例

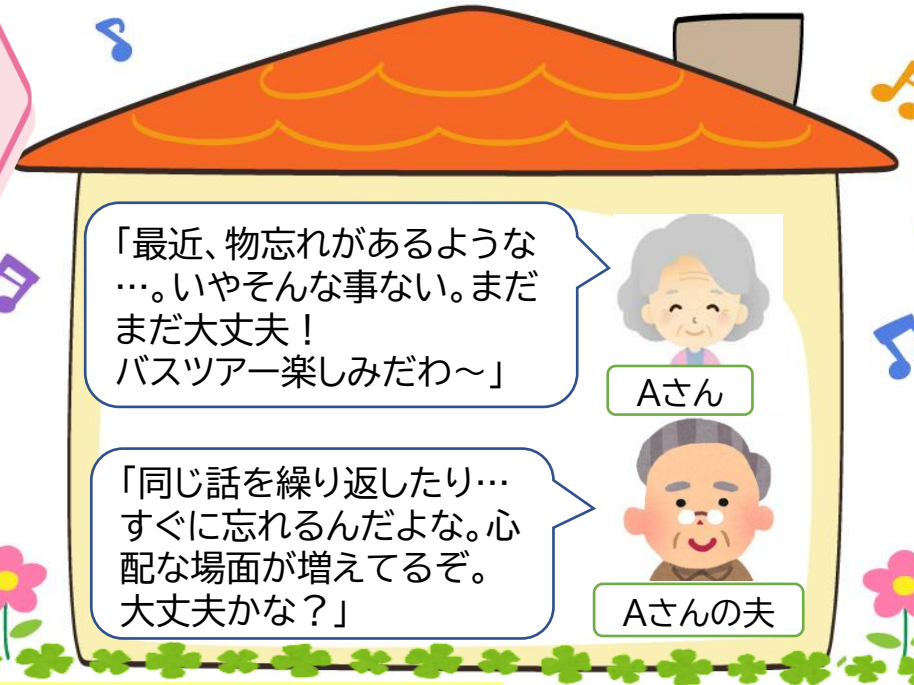
Aさんは友人からバスツアーのお誘いがありました。ご家族は、Aさんが迷惑をかけるのではと心配…

楽しみにしていたバスツアーと一緒に行きましょ!

お誘い



Aさんの友人



「最近、物忘れがあるような…。いやそんな事ない。まだまだ大丈夫! バスツアー楽しみだわ～」

Aさん

「同じ話を繰り返したり…すぐに忘れるんだよな。心配な場面が増えてるぞ。大丈夫かな?」

Aさんの夫

～バスツアー当日の出来事～

トイレ休憩の場面

「休憩だよ! トイレ行く?」

「今は…行かない。」

「私、心配だから行くけど一緒に行きましょう。」

「あら! じゃ～行こうかな。」

食事の場面

「あら!!? 私の席はあるのかしら?」

「大丈夫。席はあるよ。私の隣だよ～。」

「おいしいね～。」

カラオケの場面

「私、カラオケ大好き。私の順番はいつ?」

「じゃ～、歌の予約してくるよ。」

「ありがとね。一緒に唄うべね。」

「唄うの久しぶり。楽しみだわ。」

お二人は、地域活動に積極的に参加されていた方。卒業した今でも仲が良く、一緒に出掛けます。Aさんの認知機能が低下していることを気にかけていますが、お世話をするのではなく、一緒に楽しむことを大切にしています。気付いていないかもしれませんが、これは、認知症サポーターとしての行動です。「お互い様だから」や「昔お世話になった人だから」と頼まれたのではなく、自然に何気なく行動できている方が多くおられます。私は、認知症のサポーターやチームオレンジを地域の皆さんにお伝えし、温かい目で見守る「応援者」を目指していきたいと思ひます。

檜葉町地域包括ケアシステム まじわる つながる 支え合う リレー

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。リレー園からJFAメディカルセンターにバトンが繋がりました。

第10走者



◆クリニックの皆さんです◆

JFAメディカルセンター 整形外科クリニック

診療科目: 整形外科・リハビリテーション科

～3つの事業コンセプト～

- ①スポーツ医療事業 ◆アスリートへの高いレベルのスポーツ医学的サポート
- ②地域医療事業 ◆地域住民へのスポーツ医学的サポートによる予防医学と医療の提供
- ③研究・普及事業 ◆全国、世界にスポーツ医学的リサーチ結果の発信

～地域とのつながり～

- ◆JFAメディカルセンターは、地域の方やJFAアカデミー福島、アスリーの方々によくご利用いただいております。
- ◆JFAメディカルセンターの強みは、MRIやX線の検査機器が備わっているため必要に応じてその日に施設内で検査ができることです。また、リハビリテーション室も備わっており、症状の改善を目的に運動療法や物理療法を併用してリハビリテーションが行われていることです。
- ◆地域の方と直接つながりを持つ場合は、受付窓口だと思います。患者様の声に耳を傾け、声を掛け合う関わりを大切にしていきたいと思ひます。

～リレー園とのつながり～

- ◆リレー園の利用者さんで受診が必要となった際、受診の受け入れを行っています。検査や診察を行い今後の治療方針を立てています。

～JFAメディカルセンターの思い～

- ◆「不具合をなくし、健康な体づくりができるよう」「痛みがなく笑顔で日常生活が送れるように」と思いを込めて全スタッフが関わっております。

～みんなのつばやき～

センター長 江尻
桜って、冬の間は全く目立たないのに暖かくなった途端に一気に花を咲かせて存在感をアピールしますよね。ギャップ萌えです。

社会福祉士 渡邊
4月からやまゆり荘に異動します。桜の開花に合わせて心機一転がんばります。

生活支援コーディネーター 小林
地元の桜も良いですが…檜葉町に来て初めて見た天神山の桜が見事でした。

看護師 馬上
桜が散ると赤い実がなりますよね。小さい頃はさくらんぼだと思ってました。大丈夫…食べてませんよ!!